

ひとりでできる みんなでできる

そんな学校に

花と緑と海に囲まれ自然いっぱいの西岬小学校の学校教育目標は、「**将来を見つめ心豊かに進んで行動できる子ども**」としています。そして、目指す子ども像として「**進んで学習する子ども**」「**思いやりのある子ども**」「**たくましい子ども**」をあげています。進んで学習し、たくましさを兼ね備えた子どもに育つことができれば、将来を見つめて進んで行動できる人に成長していくことができます。また、思いやりの心を育むことができれば、心豊かな人に成長していくことができるでしょう。

それでは、子ども達にどのような現れが見られたとき、このような子どもに育ったと言えるのでしょうか。また、子ども達にわかりやすく呼びかけるにはどうしたらよいのでしょうか。そこで、1年生でも日常的に口ずさむ事ができ、全校の子ども達がそのスローガンに向かって努力したら、西岬小学校の目指す子どもに近づくことが出来るような言葉を考えてみました。

例えば、・・・

一人でも、じっくりと観察したり、深く考えたり、自ら課題を見つけて取り組んだり、深く考えたり、自ら課題を見つけて取り組んだりできます。

一人でも、目標を持って取り組んだり、継続的に努力したり、体を逞しく成長させることができます。

一人でも、友達や家族を思いやることができ、自然や地域に思いをかけることができます。

みんなで、力を合わせたり助け合ったり、意見を交換しながら学習を深めることができます。

みんなで、協力することの大切さに気づいたり、力を合わせて何倍も大きな成果を収めることもできます。

みんなで、助け合ったり、見守ったり、友達を大切にすることができます。

こう思って、西岬小学校のスローガンを「**ひとりでできる みんなでできる**」とすることにしました。

言葉は簡単ですがよく考えると、この言葉の向こうには西岬小学校が目指す子ども像の現れが、たくさん見えてきます。

校長 鈴木 清一